

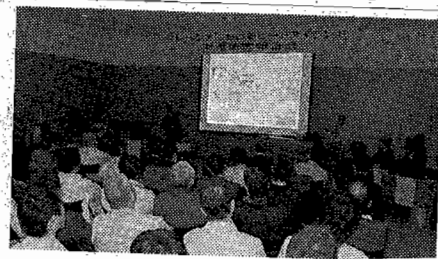
2012年(平成24年)2月9日 木曜日 (8)

多治見のクールアイランド舗装

熱帯で効果確認

業会建設業
報告組東濃協

【多治見】東濃建設対策研究会を開業協同組合(前田重宏理事長)と名古屋工業大学温暖化対策技術研究会は8日、多治見市内で「マレーシアにおけるヒートアイランド



研究成果を発表するマレーシア工科大学博士課程のニコラス・アンチンさん

「人工的に温度を下げる」ことができたのは大きい」と評価した。クールアイランド舗装は、岩尾氏の「太陽熱反射都市冷却理論」をもとに、タイル廃材を利用して開発した舗装工法。これまでに多治見市内などの駐車場や歩道で施工。昨年、マレーシア工科大と共

同研究会に携わる提携を締結していた。今回の報告会では、現地での施工報告や、同工科大のモハマド・ファディル准教授によるヒートアイランド対策研究の紹介などが行われた。岩尾氏は「熱帯向けにスコールを活かした舗装を開発すれば、タイ、インドネシアなどにも広がる」と、今後の事業化および事業拡大に意欲を示していた。